

## 胸部外科（心臓血管外科、呼吸器外科）

### 1 診療体制

心臓血管外科（心臓外科、胸部大血管外科）と呼吸器外科の2つの診療科を3人の医師で担当している。

- (1) 外来：月曜日午後と水曜日午後に染谷（心臓血管外科）、水曜日午後に白井（呼吸器外科）が予約外来を行っている。術後3ヵ月経過すると、その後のフォローアップは循環器内科、呼吸器内科にお願いしている。
- (2) 病棟：心臓血管外科は循環器内科と同じ新4病棟、呼吸器外科は外科と同じ西4病棟が主な病棟で、手術は火、木曜日に心臓手術、金曜日に呼吸器手術を行っている。胸部外科の入院患者はほとんどが手術症例のため、当科での疾患別患者数は、別表の手術一覧の表の数とほぼ同じである。
- (3) その他：火曜日18時から手術症例検討会を行い、抄読会も行っている。関連各科とのカンファレンスでは、毎朝8時15分から循環器内科とのシネカンファレンス、水曜日17時から呼吸器内科、放射線科、病理診断科との合同呼吸器カンファレンスがある。

### 2 診療スタッフ

平成29年度は、5月15日付で酒井健司医師が赴任した。

部長 白井俊純（平成12.6.1～）	副部長 染谷毅（平成21.4.1～）
医長 櫻井翔吾（平成27.4.1～平成29.6.30）	医長 酒井健司（平成29.5.15～）

### 3 診療内容（過去3年間、表1）、1年間の経過と今後の目標

**心臓血管外科**：平成29年度の手術数は94例と18例増加した。高齢者・超高齢者の割合が増加し、虚血性心疾患に対する冠動脈バイパス術はほとんどが心拍動下バイパス術（OPCAB）となり、弁膜症においては、大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術が増加した。僧帽弁閉鎖不全症に対しては、弁形成術を第一選択とし、詳細な術前評価と安定した手術手技により良好な成績を維持している。大動脈疾患においては、急性大動脈解離に対する緊急手術、大動脈瘤に対しては人工血管置換とステントグラフト内挿術（TEVAR）を症例に応じて行っている。今後の目標としては、より多くの安全確実な手術を行うとともに、小開胸、胸腔鏡補助下での弁膜症手術を開始し、手術の低侵襲化を実現することである。

**呼吸器外科**：ここ数年約60-70例程度の手術件数が続いていたが、平成29年度は、診療体制の問題から年度初めに一時期、手術症例の制限を行わざるを得ず、55例と減少した。金曜日に1例の枠に、麻酔科・手術室のご厚意により時々2例組ませてもらい対応している。季節的な変動、連休や学会出張などの影響もあり、患者さまにはご不便をおかけしている。

技術の向上、器具の進歩などにより、胸腔鏡下手術の適応拡大が進み、胸腔鏡下肺癌手術が普及してきている。当院でも、その適応拡大に向けて、人材確保と手術器材の充実が引き続き検討課題となっている。

表1. 3年間の疾患別手術数

疾患名		平成27年度	平成28年度	平成29年度
虚血性心疾患	単独冠動脈バイパス	31	27	25
	OPCAB（OPCAB率）	22(71%)	17(63%)	22(88%)
	（合併CABG）	7/38(18%)	6/33(18%)	8/33(24%)
心臓弁膜症	大動脈弁	8	17	18
	僧帽弁	8	3	11
	連合弁膜症	5	5	6
	僧帽弁形成術率（IEを除く）	7/8(88%)	7/8(88%)	8/8(100%)
先天性心疾患、その他		2	5	4
大動脈疾患	大動脈解離	6	9	7
	胸部大動脈瘤	17	10	18
	（ステントグラフト）	(3)	(5)	(7)
心臓外科計		82	76	94

疾患名	平成27年度	平成28年度	平成29年度
原発性肺癌	34	32	22
転移性肺腫瘍	10	10	10
縦隔腫瘍	4	3	4
膿胸	1	3	1
気胸	13	18	13
その他	8	5	5
呼吸器外科計	69	71	55

### BSC

部署名	胸部外科（心臓血管外科）								
ミッション	西多摩地域の循環器疾患に対する高度医療を循環器内科とともに進めていく								
運営方針	1. 手術数の維持と手術後病院死亡の減少 2. 循環器内科とともにすべての循環器疾患（急性、慢性）に対応できる体制を維持 3. 胸部大動脈瘤に対するステントグラフト治療の適応拡大 4. 学会発表、誌上発表の活発化								
項目	戦略的目標	主な成果	指標	基本的手順	27年度実績	28年度実績	29年度目標	29年度実績	評価
顧客の視点	地域信頼度の向上	病診連携	紹介率 逆紹介率	地域の研究会、HPでの当科の紹介	73.5% 297.1%	92.9% 471.4%	80% 200%	85.7% 400%	○
	地域連携研究会の充実	西多摩心臓病研究会/青梅心電図勉強会	開催回数	地域の医師との交流	年2回/ 年2回	年2回/ 年2回	年2回/ 年2回	年2回/ 年2回	○
経営・財務の視点	医業収益の増加	手術数の増加	手術数	循環器科との協調/救急疾患への対応/適応の拡大	82例	76例	90例	94例	○
内部プロセスの視点	安全の向上	レベル2以上の事故の減少	レベル3以上の事故数	インシデントレポートへの迅速な報告。原因と対策の科内での検討。	0	0	0	0	○
	質の向上	手術成績の向上	在院死亡数(30日死亡数)(緊急手術を除く)	適応を含めた適切な術前管理と手術指導	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	△
		手術内容の拡大	大動脈緊急手術/ステントグラフト	大動脈ネットワークへの参加/ステントグラフト治療の開始	6/4	9/5	10/10	7/7	△
学習と成長の視点	学術面での向上	学会活動の活発化	学会発表数	スタッフの意識付け、指導	総会:2、 地方会他:4	総会:2、 地方会他:4	総会:4、 地方会他:4	総会:1、 地方会他:3	△
			論文数		1	1	1	2	○
	心臓血管外科専門医育成	専門医修練プログラムの充実	専門医修練開始	修練プログラム通りの手術経験	櫻井	櫻井4例	酒井5例	酒井1例	△
			人工心肺操作可能な臨床工学技士育成	人工心肺の運転操作人数	5	5	5	5	○
人工心肺技師の育成	体外循環認定技師数	症例経験と研修	5	5	5	5	○		

BSC

部署名	胸部外科（呼吸器外科）									
ミッション理念	呼吸器内科と協調し西多摩地区の呼吸器疾患の中核として、医療の継続提供を行う									
運営方針	手術件数の維持と低手術死亡率の維持・継続 呼吸器内科・放射線科・武蔵野赤十字病院・東京医科歯科大学呼吸器外科とのコラボレーションによる、最適な医療の提供									
項目	戦略的目標	主な成果	指標	基本的手順	27年度実績	28年度実績	29年度目標	29年度実績	評価	
顧客の視点	地域信頼度の向上	中核病院機能の向上		呼吸器内科と連携、4科合同カンファレンス、大学等関連施設との合同検討による症例検討で最適な治療方針の検討	—	—	—	—	○	
		病診連携・病病連携		西多摩医師会の研究会への参加	—	—	—	—	○	
	高度医療の検討	高度医療の検討		胸腔鏡下肺癌手術の検討、関連施設等との連携	—	—	—	—	△*	
経営の視点	癌拠点病院として西多摩地区の肺癌治療の向上	スタンダードな肺癌手術を安全確実にを行う	肺癌手術件数		34	32	30	22	△	
内部プロセスの視点	安全の向上	レベル2以上の事故の減少	レベル3の事故数	カンファレンスの継続的施行	0	0	0	0	○	
学習と成長の視点	学術面での向上	学会活動	演題・論文		0	0	1	0	×	
	専門医・指導医	人材確保・育成	専門医数	検討	1	1	1	1	△*	

\* 年々、多くの施設で胸腔鏡手術が主になってきており、当院の体制充実が望まれる。

